【実行団体用】

事業完了報告書

提出日：　2023 年　3 月　30 日

1．事業概要

（1）実行団体名：北の国災害サポートチーム

（2）事業名　：　広域・分散型災害支援ネットワーク構築事業
～広域災害に対応する全国モデルへの展開～

（3）事業実施期間：2020 年 4 月～2023 年 3 月

（4）資金分配団体名：認定 NPO 法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク

2. 規程類の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

（1）事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
☑　完了　／　☐　整備中
→上記で「整備中」を選択した場合、整備できていない理由を記載してください。また、事業開始時と比較して、整備状況が改善された点を記載してください。
（2）　整備が完了した規程類を自団体の web サイト上で広く一般公開していますか。
☑　全て公開した　／　☐　一部未公開　／　☐　未公開
→上記で「一部未公開」または「未公開」を選択した場合、その理由と公開予定日を記載してください。
（3）　変更があった規程類に関して JANPIA に報告しましたか。
☑　変更があり報告済　／　☐　変更があったが未報告　／　☐　変更はなかった
→上記で「変更があったが未報告」を選択した場合、その理由を記載してください。

3. ガバナンス・コンプライアンス体制の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

（1）　社員総会または評議員会、理事会は、規程類の定めるとおりに開催されていますか。
☑　はい　／　☐　いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。

（2） 内部通報制度は整備されていますか。
☑ はい ／ □ いいえ
→上記で「はい」を選択した場合、設置方法を以下から選んでください。（複数選択可） ☑ 内部に窓口を設置 ／ □ 外部に窓口を設置 ／ ☑ JANPIA の窓口を利用
（3） 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
☑ はい ／ □ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（4） 関連する規程類や資金提供契約の定めるとおりに情報公開を行っていますか。
☑ はい ／ □ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（5） コンプライアンス責任者を設置していましたか。
☑ はい ／ □ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（6） ガバナンス・コンプライアンス体制の整備や強化施策を検討・実施しましたか。
□ はい ／ ☑ いいえ
→【任意】上記で「はい」を選択した場合、どのような検討・実施をしたか事例を記載してください。
（7） 団体の決算書類に対する会計監査はどのように実施しましたか。本事業の最終年度の状況を選択してください。（実施予定の場合を含む）
□ 外部監査 ／ ☑ 内部監査 ※（複数選択可）
→上記で外部監査／内部監査を選択した場合、その実施者/実施時期を記載してください。 内部監査：当団体の監事／2022 年 11 月
（8） 本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金等を申請、または受領していますか。
□ はい ／ ☑ いいえ

4. 広報実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、設問に回答してください。

（1）シンボルマークの活用状況
☑ 自団体のウェブサイトで表示している ／ ☑ 広報制作物に表示している ☑ 報告書に表示している ／ ☑ イベント実施時に表示している ☐ その他 →「その他」を選択した場合は記載してください （自由記述）：

最終年度の広報実績について記載してください。

広報種類	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等）	有	・ 2022 年 9 月 17 日／NHK 北海道（西胆振地域防災を考える市民フォーラム・洞爺湖町現地学習会） ・ 2022 年 9 月 19 日／室蘭民報（西胆振地域防災を考える市民フォーラム） ・ 2022 年 9 月 24 日／釧路新聞（ひがし北海道防災スクール 2022in 釧路） ・ 2022 年 9 月 25 日／北海道新聞釧路版（ひがし北海道防災スクール 2022in 釧路） ・ 2022 年 10 月 2 日／函館新聞（第 3 回これからの災害支援を考える北海道フォーラム）） ・ 2022 年 10 月 5 日／北海道新聞函館版・みなみ風（技術系研修会・函館） ・ 2022 年 10 月 7 日／北海道新聞函館版・みなみ風（第 3 回これからの災害支援を考える北海道フォーラム） ・ 2022 年 10 月 14 日／北海道新聞（第 3 回これからの災害支援を考える北海道フォーラム） ・ 2022 年 10 月 25 日／北海道新聞（第 3 回これからの災害支援を考える北海道フォーラム） ・ 2022 年 10 月 25 日／室蘭民報（第 3 回これからの災害支援を考える北海道フォーラム） ・ 2022 年 10 月 28 日／釧路新聞（標津町災害ボランティアセンター運営訓練） ・ 2022 年 11 月 2 日／北海道新聞・夕刊（標津町災害ボランティアセンター運営訓練） ・ 2022 年 12 月 13 日／室蘭民報（胆振地区災害ボランティア組織連携会議）

		・　2023 年 3 月 24 日／室蘭民報（地元団体から教育委員会への物品の寄贈）
広報制作物等	有	・ 技術系研修会（石狩）広報チラシ ・ 技術系研修会（旭川・函館）広報チラシ ・ 第 3 回これからの災害支援を考える北海道フォーラム広報チラシ ・ 被災者支援の多様な視点を学ぶきたサポ研修会（第 12 回～14 回）広報チラシ
報告書等	無	

5. その他（本助成を通じて組織として強化された事項や新たに認識した課題、今後の対応/あればよいと思う支援や改善を求めたい事項など、自由にご記載ください。）

助成を通じて強化された点として、重点地区（釧路地域・有珠山周辺地域）でのネットワークの強化および重点地区以外（旭川地域・函館地域）への波及効果が得られた。事業において各地域での連携構築を目指した内容を盛り込んだほか、テーマ別で開催した研修会での新たな協力会員の獲得から、各地のネットワーク形成につながった。また、当初は個人として登録していた会員が自組織へ働きかけ、団体会員としての登録になったものや、全道域の団体会員が、地域ごとのブロックでの団体会員として登録されたものもあり、各地域での活動の活性化につながっている。

【添付資料】

活動の様子がわかる写真　5 枚程度

JANPIA の事業報告書や WEB サイト、SNS 等で公開可能な写真を 5 枚程度（1 枚 2MB 以下）ご提出ください。（肖像権・著作権に十分にご注意ください。）

それぞれどんな場面の写真なのか、1 枚あたり 50 字から 200 字程度で説明を記載していただきますようお願いいたします。

※ご提出をもって JANPIA での使用にご了承いただいたこととし、使用時に改めて確認はいたしませんので、ご承知のうえ、使用に差支えのない写真（使用許可をとった写真や個人が特定される写真を避ける等）を選んでいただきますようお願いいたします。

1．技術系研修会（2022 年 6 月 18 日・19 日）

災害時における重機等を使用した技術系ボランティアの活動紹介や、重機やチェーンソー、発電機などの操作体験を含めた研修会を実施。石狩市で同日に開催されていたアウトドアイベント会場内で実施したことにより、研修参加者以外への PR にもつながった。

2．西胆振地域防災を考える市民フォーラム／フィールドワーク・有珠山を知る（2022 年 9 月 16 日）

有珠山の噴火災害に備え、前回 2000 年噴火の被災経験者でもあるガイドと共に、洞爺湖有珠山ジオパークにてフィールドワークを実施。災害遺構を散策しながら 2000 年噴火の際の体験談などを伺った。フィールドワークは洞爺湖町にて実施され、翌日には室蘭市でフォーラムも開催され、2 日間のイベントは地元新聞社や NHK でも取り上げられた。

3．ひがし北海道防災スクール 2022 in 釧路（2022 年 9 月 23 日）

当団体の幹事団体が主催し、釧路市内のイオンモールを会場とした防災イベントにおいて、当団体の活動紹介をパネル展示、動画等で紹介した。商業施設での開催となったため、約 1,000 人の来場があり、活動を広く紹介することができた。会場では、北海道の釧路総合振興局や釧路市、地元郵便局なども参加し、地域の各団体との連携が強化された。

4. 第 3 回これからの災害支援考える北海道フォーラム（2022 年 10 月 24 日）

地域特性を踏まえた災害支援の構築をテーマにしたフォーラムを開催。札幌市・釧路市・室蘭市・旭川市・函館市に会場を設けハイブリッドにて開催し、オンラインを含めた各会場において意見交換会も行った。5 会場合計 79 名、オンラインでは 16 名が参加した。